

# 薔薇便り

No.248

2022年 1・2・3月号



九州ばら祭り  
熊本ばら会の盛り花

## 目次

年頭挨拶	1
事務局だより	2~3
九州ばら祭りの報告	4
ばら会と私	5
花庭訪問	6
第5回ばら教室の資料	7~10
編集後記	11



# 年頭のご挨拶

熊本ばら会会長  
佐藤 成夫



新年明けましておめでとうございます。

日本で新型コロナウイルス感染者第1号から足掛け2年にも及ぶ長いトンネルも昨年10月頃からやっと明るい出口が見えたかのようなようです。今後の見通しはまだ不透明ですが一先ずは皆さんと共に喜びを分かち合いたいと思います。

さて一昨年に続き昨年も感染防止の観点から諸施策をことごとく中止致しました。「通常総会」「九州ばら懇話会総会福岡大会」そして「秋のばら展」並びに「ばら教室の」の中止等々、永く重苦しい1年であったことを思い起こします。そのような中、唯一オリンピックを応援する「春のばら展」が開催できたことは大きな喜びでした。

又、感染拡大による影響は会員数にも及び、ばら展等の中止により入会者は激減しております。コロナ前の会員数は120名を超えておりましたが、退会される方を含め今では100名を切るまでに至りました。ご存じのとおり会の運営はすべて会費によって運営されており会員減は是非とも避けたいところです。そういう意味からも今年は一入でも多くの会員増を目指していきたいと考えております。

さて、それとは裏腹に明るいニュースもあります。今年にはばら会にとりまして「熊本ばら会発足70周年」という記念の年を迎えます。そして春・秋のばら展会場で大変お世話になっております鶴屋百貨店様も創立70周年の年となります。このような中3月19日～5月22日にかけて全国都市緑化フェアも熊本で開催されます。更に今年には「沖縄返還50年」の記念すべき年にあたるため、迎える春のばら展ではテーマを「平和のばら」と題して盛り上げていきたいと考えているところです。とはいえ巷にコロナ感染第6波の声もチラホラ聞こえます。新型コロナウイルスのリバウンドがないことを心から願うものです。

最後に、今年こそ新型コロナウイルス感染が終息し心から喜びあえる熊本ばら会となりますことをご祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます新年のご挨拶と致します。

# 事務局だより



## 冬の剪定教室（フードパル ローズガーデン）

※特に新入会員の方はご参加ください。

【日時】2022年1月23日(日) 午前10時00分～11時半頃まで  
※雨天の場合も軒下で実施します。

【場所】フードパル熊本 熊本市北区貢町「白い貴婦人」前のばら園

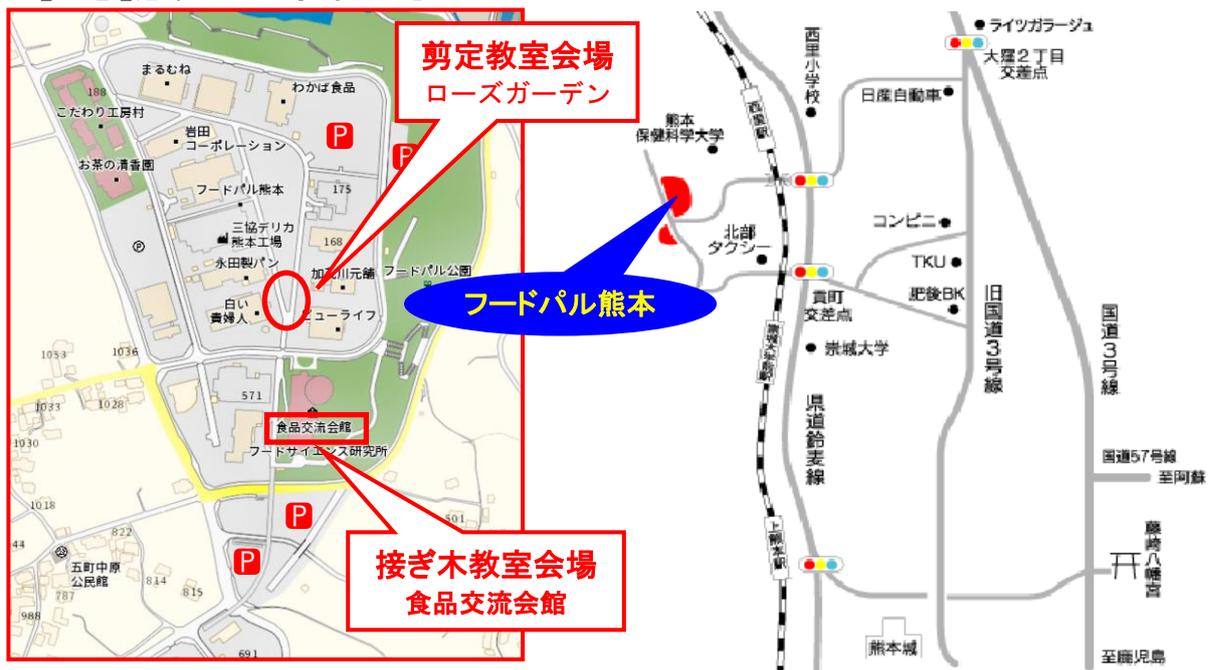
### 【持参するもの】

- ① 作業用皮手袋（トゲでケガをしないよう必ず持参してください）
- ② 剪定バサミ（生け花用ハサミは剪定には不適です）
- ③ 作業しやすい服装と靴で（トゲが引っかかっても大丈夫なもの）
- ④ 剪定用ノコギリを持っている方は持参ください。



■注意事項：参加者はマスクの着用をお願いします。

### 【注意】必ず P に駐車ください





## 接ぎ木教室ご案内（事前申込不要）

【日時】 2022年1月23日（日） 13時30分～15時半頃まで

【場所】 フードパル熊本 食品交流会館 大ホール

熊本市北区貢町 581-2 TEL096-245-5111

### 【持参するもの】

- ① 作業用皮手袋
- ② 剪定バサミ  
（生け花用ハサミは不適です）
- ③ 接木用ナイフ  
（お持ちでなければカッターナイフ大でも可）



【参加費】 ￥500-

（台木・材料代として当日徴収します）

【その他】 台木・穂木の乾燥防止のため暖房を入れませんので  
暖かい服装でおいで下さい。  
接ぎ木資料は配付します。



### 【注意事項】

「白い貴婦人」の駐車場には駐車しないでください。  
貸切バスやお客様の駐車にご迷惑となります。  
駐車はフードパル熊本の一般駐車場をご利用ください。

■注意事項：参加者はマスクの着用をお願いします。



## 2022年春のばら展

【日 程】 2022年5月6日（金）～8日（日）

【テーマ】 「平和のばら」 沖縄復帰50年記念

沖縄復帰50年の節目に平和を願って展示テーマを「平和のばら」とします。  
悲惨な戦争を繰り返さないことを願って「アンネのばら」「祈り」「セントコルベ」  
「ピース」「のぞみ」などの展示を計画しています。  
平和に因むばらを育てておられましたら展示に向けて手入れをお願いします。



## 令和3年九州ばら祭りの報告



佐藤 成夫

「九州ばら懇話会」とは？

懇話会会則によると「九州のばら会相互の交流と親睦を深め、併せてばら文化の高揚に寄与することを目的とし、ばら展の開催、並びに栽培その他に関する懇話会、研究会の開催等々の事業を行う」となっております。

現在では福岡バラ会、佐賀バラ会、佐世保バラ会と熊本ばら会の計4ばら会が加入しております。発足当初は九州・山口で17ものばら会が加入しており隆盛を極めた時期もありました。(このことにつきましては前回会報247号のP5「熊本ばら会50年感動の歴史」を併せて読んでいただくと参考になると思います)

私たち熊本ばら会が九州山口ばら懇話会に加入したのが昭和49年6月で、私が熊本ばら会に入会したのが同年秋ですから私としては記憶に残る昭和49年となります。

元々全国のばら会の殆どがコンテストを主体としたばら展を開催しており、「常に他人よりきれいなばらを」を合言葉に争っていました。一方熊本ばら会は自分だけのばらづくりに勤しんでおり、設立当初からコンテストは一切しないばら会として周知されています。

九州ばら懇話会では毎年10月に一日だけ「九州ばら祭り」を福岡市で開催します。熊本ばら会も懇話会の一員として参加していますので、栽培技術向上のために九州ばら祭りのコンテストには参加してよいことになっています。

コンテストは「HT」が定番とされてきましたが他に「FL」「Min」の種目もあります。コンテストは自らの技術向上のためにも効果があると思いますのでお気軽に参加され九州ばらまつりを盛り上げていただければと思います。

昨年は10月23日(土) 福岡市植物園におきまして九州ばらまつりが開催され、熊本ばら会から福島康宏さんが審査員として、私がコンテストに参加しました。

結果につきましては大変おこがましいことですが、事務局の要請により掲載させていただきます。

コンテスト種目

【HT部門】

(新人) 1輪花、2輪花

(一般) 1輪花、2輪花、3輪花、5輪花

【FL部門】

【Min部門】 以上8種目

私のコンテスト結果は次の通りです。

【HT部門】(一般)

1輪花・・・2等

2輪花・・・1等

3輪花・・・推薦

(上位の2輪花で1等のため)



2輪花 左「みつえ」右「手児奈」

# ばら会と私

No. 33 中村 誠二



11月でばら会に入会させて頂き丁度2年になりました。そもそも私と薔薇の関わりは5, 6年ほど前に私の妻が草花の寄せ植えを始めた事がきっかけでした。私も花は好きでしたので、妻と一緒に園芸店に足を運ぶうちに、目にした草花を買い求めることが増えていき、買い求めた結果、草花も100鉢を超えてしまいました。しかしながら全てが鉢で夏の水やりが大変となり、次第に苦痛となってきました。このまま花を育てることが嫌いになりそうで、自問自答する事一月余り。そして花の中で一番好きな花にしぼってやって行けば続けられるかもとやっと結論が出ました。それが薔薇でした。決めた一つのきっかけは私の友人の奥様が、以前より自宅前に薔薇を20株余り地植えされており、毎年、見事に咲き誇った花を見てきたからかもしれません。始めのうちはブッシュ

またシュラブという意味も分からず買い求めていました。(後々後悔しました)その後薔薇の苗も大きくなり始めました。薔薇の本に掲載されたオベリスク仕立ての写真等を見て、私もやってみたいと思いまずはグラハムトーマスでやってみました。やってみますと枝は折れるは芽は欠けるはで非常に悩んだことを覚えています。後で分かったことですが、そもそもグラハムトーマスでオベリスク仕立てはないですね。オベリスク仕立ては周囲をぐるぐると巻きながら仕立てなければならないのに、なんと私は中に全部の枝を押し込めるように入れていたのでした。道理で枝も芽も折れたりしたはずですね。(私の心も折れました。)その後、熊本ばら会に入会させて頂きました。バラの栽培を始めたころは薔薇の病気のことも知らなかったのが、今は基本的なことは分かった様に思えます。現在は20数種類の鉢薔薇を育てていますが、昨年も今年もハダニに悩まされましたので、殺ダニ剤はもちろんのこと、殺虫剤も殺菌剤についても調べました。これから冬を迎えるにあたり鉢の植え替え作業も始まりますが、今回は大鉢(10号・12号)の全部はしないつもりです。つる薔薇の鉢植えが4~5鉢ありますので、それについては鉢オベリスクのサイズアップを行いたいと思います。

来年の抱負としましては接ぎ木の習得です。是非、やってみたいです。数日前に芽接ぎなるものも知りました、これも来年チャレンジしてみたいです。来年こそはコロナ騒動も落ち着き、薔薇会員皆様との意見交換等を和気あいあいと出来ることを楽しみにしています。



# かていほうもん 花庭訪問

今回の訪問は、ばら会入会3年目の吉見さん宅。「バラのことをもっと勉強したいので是非いらして下さい」と、訪問のお願いを快く受けて頂きました。

ナビで初めての道をたどりながら「今日は、どんなバラ達に会えるのだろう！」とワクワク感で一杯。しばらく走ると閑静な住宅街に入り、直ぐにバラの家が見えてきました。

10月の訪問でしたが、つるアイスバーグ・アンジェラ・ピエールドゥロンサール・ゴールドバニー・アンクルウォルター等々、大株のバラ達が吉見さんの家を囲むように、勢いよくつるを伸ばし、沢山の美しい葉を茂らせています。「まだ入会3年目なのにすごい！」不思議な気がしました。



10年前、新居購入の際、『家に四季折々の自然の彩を添えたい!』という思いで8株のつるバラを植えられた

とのこと。その後、奥様が地域の園芸教室に熱心に通われ、吉見さんも農協で病害虫防除や肥料のことなど色々相談されてきたそうです。園芸の勉強を重ねる中で『植物は可愛がり過ぎて肥料過多になると弱ってくる。自然のままに育ててこそ耐病性のある樹勢の強い株になっていく。』と学んだそうです。その学びを基に肥料分も含んでいる牛糞堆肥と根張りを良くする籾殻燻炭のみを施してきたそうです。数年前からは、株元に短くカットしたワラのマルチを始め、一年毎にそのワラを株元に鋤き込んできたとのこと。「ワラの鋤き込みを始めたことで土がフカフカになり株に勢いが出てきたんですよ」と嬉しそう!! ご夫婦の懸命なお手入れによって順調に成長を続けてきたつるバラ達だったのです。更にバラ成長の維持向上のため『バラ栽培』について



プリンセスミチコ

本格的に学びたくて熊本ばら会に入会。『接ぎ木教室で接いだものが100%近く成功したのがとても嬉しくて。その後の育て方も近所の会員さんに教えて頂いて綺麗な花が咲いたんですよ。中でも鮮やかなオレンジ色のプリンセスミチコが一番好きです。』と入会後の喜びを話して頂きました。そして『接ぎ木2年目のバラ達が来年もっと花数が増えるような手入れ法を学びたいです。』と目を輝かせておられました。

奥様は草花栽培の趣味もお持ちで、家の西側には大株のローズマリー、玄関には、明るい緑葉のシマトネリコやソテツ等が生き生きとオシャレに育ち、可愛らしい風蘭の鉢も並んでいました。吉見さん夫婦のバラ・草花好きがご近所に広がり、向いの方もバラ栽培を始められたそうです。訪問の日も向いの奥様との『バラの会話』がはずんでいました。そのバラ繋がりの様子に触れ、とても幸せな気持ちになりました。他にも3~4人、バラ栽培をやりたい方が増えているとのこと。吉見さんの周りにバラ・草花の輪が広がっていくのが楽しみです。 文 二代目やじ・きた



# 農薬のRACコードとはなんだ？



現代農業 2018年6月号から

世界の農薬業界の上部団体である「世界農薬工業連盟」(日本の農薬工業会も所属)には、3つの抵抗性管理委員会(Resistance Action Committee=RAC)があります。3つの委員会は、殺虫剤の委員会(Insecticide)「IRAC」、殺菌剤の委員会(Fungicide)「FRAC」、除草剤の委員会(Herbicide)「HRAC」といいます。

それぞれの委員会では作用点や作用機構から農薬の有効成分を分類した「RACコード」(ラックコード)の利用を提唱しています。

農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられているからです。RACコードが同一であれば、有効成分が異なっても同一系統の薬剤なので、連用は避けなくてはなりません。

農薬のラベルなどへのRACコード表示は始まったばかりですので全ての農薬に表示があるわけではありません。一般財団法人農山漁村文化協会のWebサイトで確認してください。「racコード 農文教」で検索してみるか、以下のURLで確認ください。

<http://lib.ruralnet.or.jp/cgi-bin/ruralnouyakurac.php>

IRACコード	サブグループ	作用機構	主な農薬
1A	カーバメート系	アセチルコリンエステラーゼ阻害剤 →神経作用	アドバンテージ、オリオン、オンコル、ガゼット、デナボン、バイデートL、バッサ、ラービン、ランネット
1B	有機リン系		EPN、アクテリック、エルサン、エンセダン、オルトラン、ガードホープ、カルホス、カルモック、サイアノックス、ジェイエース、ジェネレート、ジメトエート、スプラサイド、スミチオン、スミフェート、ダースバン、ダイアジノン、トクチオン、ネキリエースK、ネマキック、ネマトリン、バイジット、マラソン、ラグビー
2A	環状ジエン有機塩素系	GABA作動性塩化物イオンチャンネルブロッカー →神経作用	ペンタック
2B	フェニルピラゾール系(フィプロール系)		キラップ、プリンス
3A	ピレスロイド系 ピレトリン系(合ピレ)	ナトリウムチャンネルモジュレーター →神経作用	MR、ジョーカー、アーデント、アグロスリン、アディオン、ゲットアウト、サイハロン、シクロサルル、除虫菊、スカウト、テルスター、トレボン、ネキリバイト、バイスロイド、フォース、ベイオフ、マブリック、ロディー、ロビンフッド

## ■殺虫剤のRACコードの記載例

【注】全ての農薬にRACコードが記載されているわけではありません。



### ■ラベル・チラシなどでのRACコード記載例

- 殺虫剤分類 **1B** ▶ 製品は殺虫剤で、RACコードは1Bです。
- 殺虫剤分類 **1A,14** ▶ 2成分混合の殺虫剤で、RACコードは1A,14です。
- 殺虫剤分類 **2B** ▶ 殺虫殺菌混合剤で、殺虫剤成分RACコードが2B、殺菌剤成分RACコードは6です。
- 殺菌剤分類 **6**
- 殺虫剤分類 **1A,-** ▶ 2成分混合の殺虫剤で、一方のRACコードが1A、もう一方はRACコードが決まっていません。



# 農薬への抵抗性とはなんだ？



現代農業 2018年6月号から

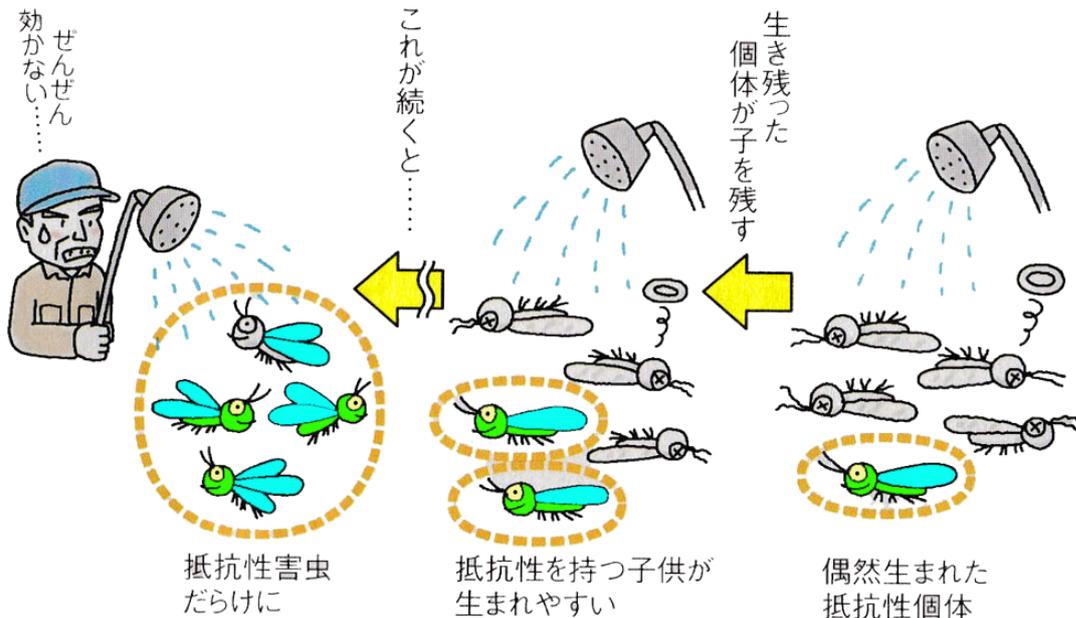
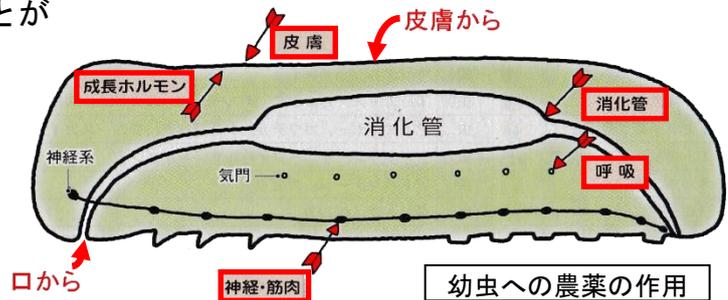
RACコードの説明にもあったように、害虫の薬剤抵抗性（殺菌剤は耐性）発現は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられているため、同一系統の薬剤を連用すると害虫に薬剤抵抗性が発現する。

殺虫剤には口から入って効く成分や皮膚から入って効く成分がある。体内に入った成分が作用するのは主に「神経」「筋肉」「呼吸（エネルギー代謝）」「皮膚生成（キチン合成）」「成長ホルモン」「消化器官」に分かれる。農薬が作用するメカニズムのことを作用機構（作用機作）という。そして殺虫剤と殺菌剤を作用機構ごとにグループ分けしたものを系統という。

同じ系統の殺虫剤は、害虫に対して同じように効くので、続けて使うといずれ効かなくなってしまう。

同じ害虫にもそれぞれ個体差があって農薬の成分に対して強いものと弱いものがある。農薬散布後に仲間がバタバタと死んでいく中に生き残るものがある。そこで違う系統の農薬を散布すると生き残った害虫も死ぬかもしれない。しかし同じ系統の農薬を散布し続けると、またしてもそいつは生き残り、生き残った害虫の子孫は同じ系統の農薬に対して強いものが多くなる。そして、いつの間にか「抵抗性害虫」だけになってしまい、その系統の農薬は効かなくなってしまう。

病原菌に対しても同じようなことが発現する。そのことを耐性という。





# 予防剤と治療剤はどう違うの？



現代農業 2018年6月号から

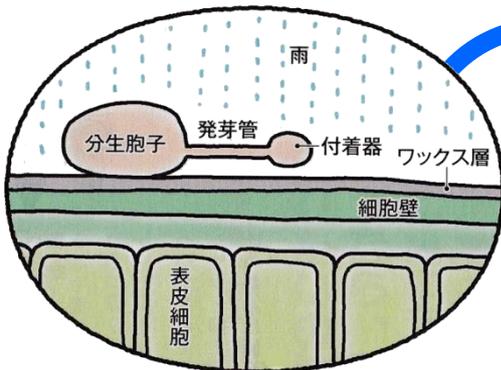
殺菌剤には「予防剤」と「治療剤」がある。病原菌が作物体内に入り込む前に叩くのが予防剤で、作物体内に侵入した病原菌まで叩くのが治療剤です。病害が発生している時に予防剤を散布しても効果はなく治療剤に頼るしかない。治療剤といっても病害がもとどおりに治るわけではなく病害の広がりを止めるものです。

## 【発病までの3段階】

病原菌にはカビ（糸状菌）、細菌、ウイルスの3種類がある。このうち70～80%はカビによって発病する。カビが葉に付着して植物体内に侵入し、発病するまでには以下の3段階がある。

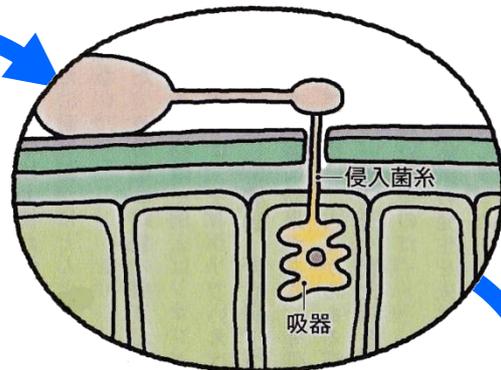
### ① 胞子が葉に付着して発芽する

葉の表面についた胞子(分生胞子)が発芽すると、落ちないように付着器をつくる

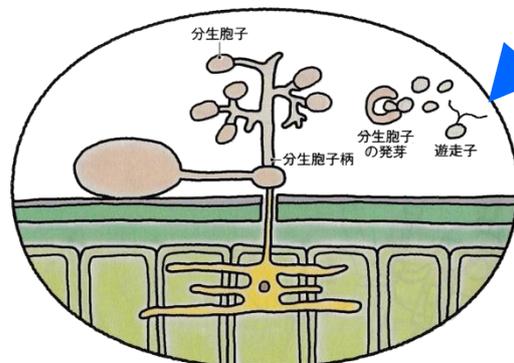


### ② 菌糸を伸ばし細胞内に侵入

酵素を出して葉の表面のワックス層を溶かしながら植物体内に菌糸を伸ばし吸器をつくる



### ③ 栄養を取り分生胞子をつくる



吸器で植物から栄養を吸収しながら繁殖し再び胞子を拡散。これを繰り返して増殖する

### ① の段階で叩くのが 予防剤

胞子の発芽を抑制したり、菌糸の侵入を阻止する。

### ②, ③ の段階で叩くのが 治療剤

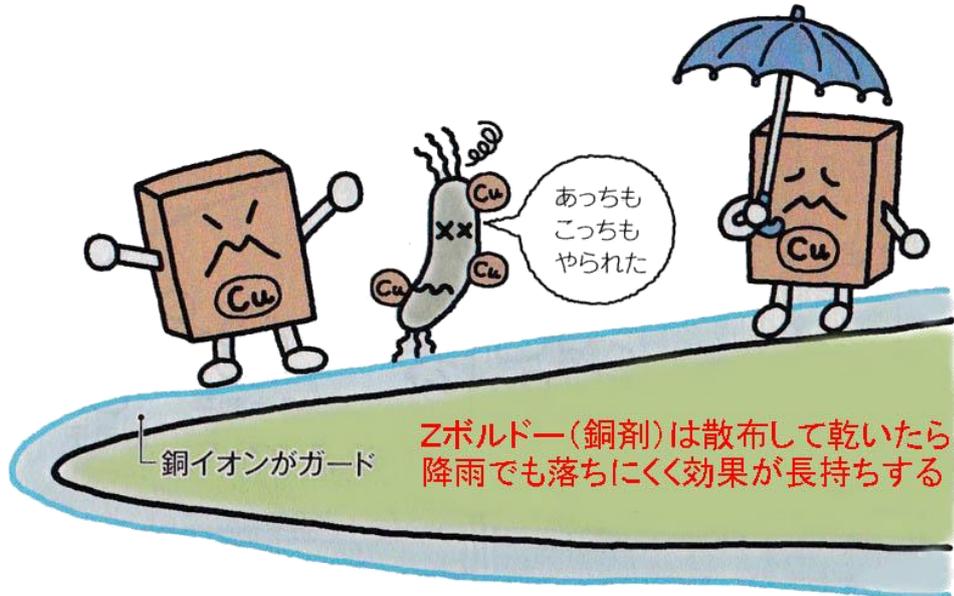
植物体内に成分が浸透し、侵入した菌糸や吸器に作用して死滅させたり、分生菌糸の形成を阻害する。

## 【予防剤はどう効く？】

予防剤と言えるのは、FRACコードで、「M」に分類される「多作用点接触活性」に分類されるもので、銅剤（Zボルドーなど無機銅剤、サンヨールなど有機銅剤）、イオウ剤（イオウフロアブルなど無機硫黄剤）、ジマンダイセンなど有機硫黄剤）、有機塩素系（オーソサイド、ダコニール）などがある。

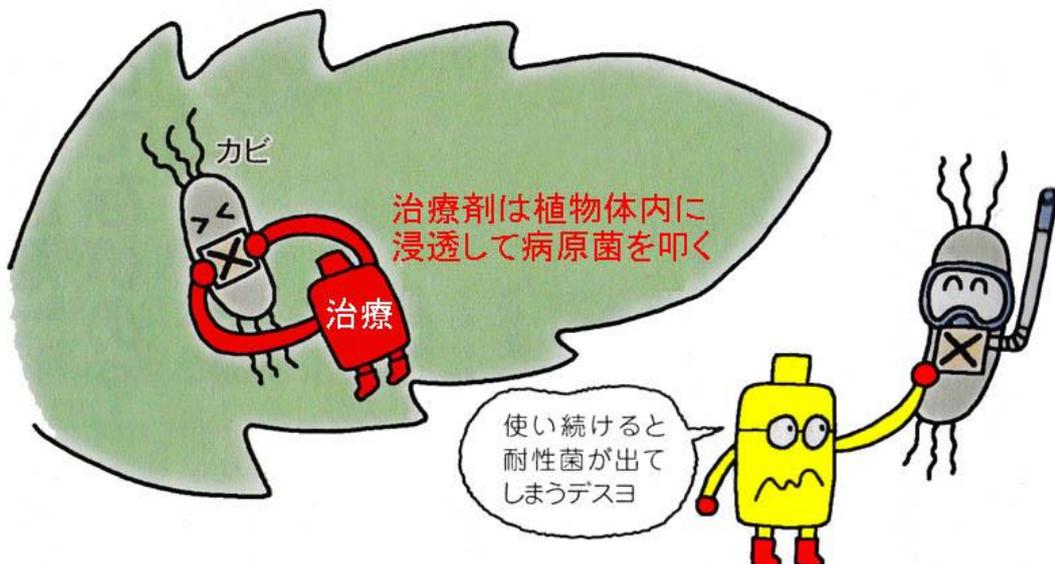
予防剤は、病原菌のいろんな場所を攻撃する（作用点が多数あり）、病原菌に耐性が出来にくい。

植物の表面で待ち受けて孢子の発芽抑制や菌糸の新入を阻止する。



## 【治療剤はどう効く？】

治療剤は植物体内に侵入した病原菌も攻撃できる。植物体内に浸透して、細胞壁整合成障害、タンパク質合成障害、呼吸障害など、病原菌の生命活動を障害したり死滅させたりする。



## 編集後記

(正村)

新年あけましておめでとうございます。

ここ2年間コロナウイルスに振り回されっぱなしでしたが、新しい飲み薬の使用開始や国産ワクチンの承認も近間って、明るい兆しも見えてきました。早くコロナウイルスがインフルエンザウイルス並みになることを願っています。

今は感染防止をしながら行事を進めていくことにしましたので11月21日の第5回ばら教室から再開しました。

ばら教室では農薬についての資料をお配りしました。以前にも会報に掲載していますが農薬についての復習のつもりで本号に掲載しました。

農薬の使用は難しいと思われる方もおられるかもしれませんが、基本を知って使えば難しいことはありません。適宜に防除してばらを病害虫から守りましょう。

私は昨年末に農薬指導士の資格を取得しました。農薬を販売したり散布したりするために必要な資格です。農薬指導士というと農薬についてのスペシャリストのように思われるかもしれませんが特に難しい資格ではありません。まだまだ農薬について知らないことばかりですので会員の皆様と少しずつ勉強していきたいと思っています。

表紙の写真は10月23日の九州ばら祭りに飾られた熊本ばら会の盛り花です。九州ばら祭りには、佐藤会長と福島康宏さんが参加され、熊本ばら会を代表してばらを飾って頂きました。次回は会員の皆様の花を飾れたらすばらしいと思います。佐藤会長や福島康宏さんの花を目指して栽培していきましょう。

最後に、今年目標はなかなか進まないホームページの更新をやり遂げることです。毎日でも見たくくなるようなホームページができるように頑張ります。

今年も引き続き会報の編集を担当させていただきますので宜しくお願いいたします。

ばらだより 通巻248号 2022年1・2・3月号  
発行 熊本ばら会  
会長 佐藤 成夫  
事務局 正村 正輝  
会報担当 正村 正輝  
問合せ用Eメールアドレス  
[info@kumamoto-rose-society.org](mailto:info@kumamoto-rose-society.org)

熊本ばら会ホームページ  
<http://rose-society.life.coocan.jp/>